

2024年度活動概要

国際英語と異文化理解研究会

国際英語と異文化理解研究会は「国際英語論の日本の英語教育への寄与」をテーマとして活動しました。ほぼ毎月のようにオンラインでの研究会を開催し、「学会での研究発表」と「出版の準備」の2点を中心に研究活動を行いました。

先ず、以下のような様々な学会で研究発表を行いました。8月の第63回 JACET 国際大会では「AI時代の英語教育と国際英語論」の総合テーマで SIG ポスター発表を行いました。このポスター発表では、「生成 AI と国際英語論重視の英語教育」、「リーディングにおける AI の利用」、「AI-assisted writing と国際英語論」、「AI によるネイティブ志向発音と日本人英語」の4つのサブテーマを展開し、生成 AI の導入が日本の英語教育に理論的、実践的にどのような影響するかを論じました。実際は、第63回 JACET 国際大会は台風のため会期の途中で中止となり、この SIG ポスター発表の展示と質疑応答は12月の JALL in JACET 大会の場でなされました。

12月7日の JALL in JACET では「AI時代の英語教育と国際英語論 2」を総合テーマで SIG ポスター発表を行いました。このポスター発表では、「生成 AI と国際英語論重視の英語教育 2」、「国際英語論のめざす「解釈的理解」と AI」、「AI-assisted writing の課題」、「AI によるネイティブ志向発音と英語の中の日本語」、「国際英語論の観点から生成 AI は何が優れているのか」の5つのサブテーマで、8月の第63回 JACET 国際大会での SIG ポスター発表の継続版として発表しました。

次の研究活動は、国際英語論と英語教育に関する研究書の出版の準備を継続したことです。これは2016年に本研究会メンバーで出版した『「国際英語論」で変わる日本の英語教育』の続編で、実践面に主眼を置いたものです。「国際英語論の再考」と「国際英語論と4技能の関係」を軸に、国際英語論の日本の英語教育への実践的寄与を示唆する内容にまとめることを視野に毎月メンバー全員が検討を重ねました。出来れば今年度中に成果を得られるようになればと考えています。

2024年度はこれまでの研究活動を発展的に継続していきたいと考えています。また、研究環境が改善されて来たので対面での研究会も開催して研究活動を活性化したいと考えています。